

2023年度 天文学科 課題研究発表会 (2024年2月9日)

場所：1042/1043講義室

	時間	氏名	指導教員	題 目
午前の部 10:00-12:00				
1	10:00~10:20	小島 裕樹	宮田	TAO/MIMIZUKUのモニタ観測のための中間赤外線標準星探査
2	10:20~10:40	大塚 翔生	藤井	超大質量星による周囲のガスの汚染
3	10:40~11:00	折井 一步	戸谷	Pulsar Timing Array
4	11:00~11:20	厚地 凧	戸谷	Circinus X-1系のFe XXV輝線と系の構造についてのXRISMでの観測に向けた研究
5	11:20~11:40	嬉野 大和	藤井	矮小銀河の遭遇によって引き起こされる棒渦巻銀河でのradial migration
6	11:40~12:00	小口 和真	田村	Keck/HISPEC・TMT/MODHISのための回折格子の予備評価実験
午後の部 13:00-15:00				
7	13:00~13:20	兒玉 工門	酒向	TAO望遠鏡光学調整用スクリーンカメラの開発
8	13:20~13:40	清水 駿太	柏川	JWSTとすばるによる輝線天体探査のための $z \sim 6.2$ におけるLAEの検出
9	13:40~14:00	田中 健翔	土居	マイクロシャッタアレイ 光学評価
10	14:00~14:20	千葉 遼太郎	茂山	大質量星における酸素殻フラッシュのモデル計算
11	14:20~14:40	根津 正大	小林	Tomo-e GozenによるT Tauri型星の短時間変動の検出
12	14:40~15:00	葉 与衡	峰崎	活動銀河核NGC4151のXRISM同時可視赤外線分光測光観測